

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年12月22日

計画の名称	藤枝市の安全で快適な自転車利用環境創出（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	藤枝市												
計画の目標	地方版自転車活用推進計画に位置づけのある「市町自転車ネットワーク計画」に基づく自転車通行空間整備により、歩行者、自転車、自動車及安全・快適に通行できる道路環境を創出するとともに、通行ルール遵守の徹底と自転車関連の交通事故削減を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	150	A	150	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H33末
1	整備路線における自転車関連交通事故を削減（整備後50%減少）させる。 整備路線における、整備完了時の自転車関連事故発生件数（件） / 平成29年度事故発生件数（件） × 100 整備路線における、整備完了時の自転車関連事故発生件数（件） / 平成29年度事故発生件数（件） × 100	100%	%	50%
2	整備路線における自転車通行ルール遵守率を向上（70%遵守）させる。 整備路線における、通行ルール遵守自転車台数（台） / 自転車通行総台数（台） × 100 整備路線における、通行ルール遵守自転車台数（台） / 自転車通行総台数（台） × 100	40%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村	交安	(1)藤枝駅広幡線ほか	自転車通行空間整備 10.00k m	藤枝市						150	-	
											小計						150		
											合計						150		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
藤枝市社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱に基づき、当該委員会において事後評価を実施。	令和6年2月
	公表の方法 藤枝市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	矢羽根型路面標示を設置したことで、車道における通行場所や方向が明確となり、通行ルールの遵守につながった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も関係機関と連携し、自転車通行ルールの遵守の啓発に努めるとともに、「藤枝市自転車通行空間ネットワーク整備計画」に位置付けられた路線について継続的に通行空間を整備していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	自転車関連事故発生件数	
	最終目標値	50%
	最終実績値	88%
矢羽根型路面標示を路肩に設置した路線について事故件数が著しく減少しており効果が見られた。		
2	通行ルール遵守率	
	最終目標値	70%
	最終実績値	52%
自転車通行ルールをパンフレットやポスター等により、広く周知を図ったが、十分な成果がみられなかった。		